



弘前アップル RC 週報

会長：齊藤貴博 幹事：田中裕介

2014/07/01

第 92 回例会

弘前アップル RC 事務所 〒036-8086 青森県弘前市田園 1-12-2 アイエーネットワーク内

2014-2015 年度
第 1 回目の例会です。

会長スピーチ



私達、弘前アップルロータリークラブも発足から 3 年目を迎えることができました。

殆どの会員が、右も左もわからないままここまで運営できたのも地区内外のロータリアンの皆様、又弘前アップルロータリークラブを支えていただいた皆様方のおかげと思っております。心より御礼申し上げます。

さて、3 年と申しましても他のクラブと比べるとまだまだ若いクラブです。

しかし、いつもでも若いクラブのままではいけません。

私達がいかにロータリアンとして向上し、これからより良いクラブへ反映する為に以下の内容を 2014-2015 年度のクラブ方針とさせていただきます。

○クラブとしての向上

多くの会員が初めてロータリアンになってから 3 年目となりますが、クラブ内での運営がうまく機能しきれてない点を改善いたします。会員からクラブへの要望及び改善点などを収集し、より良いクラブ運営を目指します。又、その内容をもとに各委員会の問題点があれば同様に改善いたします。さらにロータリアンとしての向上を図るため、最低 3 回のロータリーカフェを開催します。

○会員増強

会員増強というテーマは難しい問題ではありますが、これこそ会員一丸となって取り組める内容でもあります。同じ考えの人が集まり一つのことを成し遂げるのも良いでしょう。しかし違う考えの方が色々な方向から色々な意見を出し合い議論し、何かを成し遂げることも大変素晴らしいことだと思います。これは、自分にはなかった思想が芽生えこれからの自分にとって必ず有意義なものとなるはずです。



その為には、女性や若い方、又色々な業種の方々を会員に招き入れ、ロータリークラブの楽しさを共有していきたいと思っております。

○ポリオ撲滅及びロータリー財団への寄付

ポリオ撲滅はロータリーの継続的な事業の一つです。当クラブでも積極的に活動していかなくてはなりません。同様にロータリー財団への寄付も呼びかけ、少しでも世界中の方に貢献できるようにいたします。

○参加したくなる例会

例会はロータリアンとしての義務です。しかし、義務ということだけで参加しても楽しくありません。会員が自発的に行きたくするような例会の運営内容に心掛けます。上記会員増強がございましたが、会員維持も重要なテーマです。会員自身が自分のプラスになるような楽しく元気な例会を目指します。

米山記念奨学生 宋 春蓮さんスピーチ

みなさん、こんばんは。先に研究の報告をしたいと思えます。6月から論文を書き始め、最近では研究結果を書いています。あと、10月に博士課程に入るため、修士論文概要と博士研究計画書を先生と相談しながら書いています。



6月は楽しい意味がある一ヶ月でした。6月10日は角田さんと一緒に田舎館に行きました。そこでラインさんと一緒に田植え体験をはじめました。色が違う稲を使って巨大な絵を作りだすのは初めて見て奇抜はアイデアだと思いました。ちなみに私は絵の真ん中、おじさんの右のひげを一緒にやりました。帰る途中役場を通って展望台で田んぼアートを観覧しました。富士山と羽衣伝説でしたが色が薄くて残念でした。係の話だと8月が一番きれいだそうで楽しみにしています。

14日と15日は三浦さん家族と一緒に青森県下北半島に行ってきました。尻屋崎灯台に行く途中で馬をみました。大きい馬たちはおとなしかったです。勇気を出してタッチしたらあたたかい体温を感じました。その時、馬たちはやさしいなと思いました。それからラインさんと一緒に恐山に行きました、恐山は雰囲気ちょっと違いました。恐山は活火山で地面から煙がたっていました。めずらしい景色だと思いました。恐山には子供を亡くした親たちが来て祈っているそうです。2011年、福島の自身で亡くなった人たちのために作った彫像を見てきました。帰る前にラインさんと一緒に「いいところに行くように」祈りました。仏ヶ浦もすごく綺麗でした。ラインさんといっしょに写真を撮りました。2日間の旅行はとても楽しかったです。青森県でもうひとつ、いい思い出ができました。

25日ラインさんはアメリカに帰りましたが、日本での10ヶ月の生活は大変良い経験だと思えます。ラインさんといつか会う機会があると信じています。